

\* \* \* \* \* ○\*\*INDEX\*\*○ \* \* \* \* \*

OPACKからのお知らせ

【1】実証事業「元岡OPENSALON(大学と地域の交流・情報発信拠点)」  
オープンしました!【New!!】

OPACKからのお知らせ

【2】第2回まちづくりスクールを開催しました!【New!!】

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【3】九州大学 人社系協働研究・教育コモンズの第6回企画  
「国境の島々のダイナミズム」オンライン開催のご案内!【New!!】

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【4】一般財団法人化学物質評価機構(CERI)寄付講座  
「先端分子材料科学~設計、構造・物性、機能からデバイスまで~」  
開催のお知らせ!  
=後期講座がオンラインでの開催となりました=

\* \* \* \* \* ○\*\*\*\*本文\*\*\*\*○ \* \* \* \* \*

OPACKからのお知らせ

【1】実証事業「元岡OPENSALON(大学と地域の交流・情報発信拠点)」  
オープンしました!【New!!】

概要

実証事業「元岡OPENSALON」2020年9月16日オープンしました。  
九州大学の学生や教職員、地域にお住まいの方達の「交流の場づくりと九大学研都市の情報発信拠点」  
を実証事業として取り組みます。交流を促す様々なイベントを実施するとともに、九州大学や  
地域の様々な情報を発信します。近くをお通りの際は、是非一度、お立ち寄りください。

【オープン期間】

2020年9月16日(水)~10月31日(土) 14:00~18:00

9月20日(日)、21日(月・祝日)、22日(火・祝日)27日(日)はお休み

【企画・運営団体】

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)、株式会社三好不動産、  
九州大学まちづくりサークルiTOP、元岡国際交流ひろば、ふくおか共創プロジェクト、  
九州大学キャンパス計画室、株式会社よかネット

インフォメーション/コンシェルジュ INFORMATION/CONCIERGE

レンタルスペースFree RENTAL SPACE

コ・ワーキングスペース CO-WORKING SPACE

生活便利機能 CONVINIENT LIFE

ブックシェア BOOK SHARE

【スケジュール・お問い合わせ】

ホームページ <http://motooka.mystrikingly.com/>

facebook <https://www.facebook.com/MotookaOpenSalon>

twitter <https://twitter.com/home>

Instagram <https://www.instagram.com/motookaopensalon/?hl=ja>

・元岡OpenSalonチラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28917\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28917_file.pdf)

OPACKからのお知らせ

## 【2】第2回まちづくりスクールを開催しました！【New!!】

---

### 概要

2020年9月10日（木）、九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所のホールを会場に、「第2回まちづくりスクール」を開催しました。

このイベントは、「アーバンデザイン会議九大（UDCQ）」の主催、福岡市西区役所の共催、ふくおか共創プロジェクトの協力により開催するものです。

学術研究都市構想に掲げる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」を支援することを目的として、九州大学キャンパス計画室とOPACKで共同運営する団体。

---

### 【イベントの目的】

九大の教員や学生、地域の事業者の方などを講師とし、これまで地域で取り組んで来たまちづくり活動を紹介してもらうことで、スクール参加者がまちづくり活動の意義や楽しさを共有する、さらにはこのイベントをきっかけにして仲間をつくり、その仲間とともにまちづくり活動の実践につなげることを目的としています。

### 【イベントレポート】

2回目となる今回も、オフライン（九州大学）とオンライン（ZOOM）を併用したハイブリットセミナーとして開催しました。

はじめにOPACK事務局次長の横内正明よりまちづくりスクールの概要と前回の振り返りについて説明がありました。

その後の事例紹介では4名の講師にそれぞれの取組についてご講演いただきました。

九州大学大学院人間環境学府の大学院生二田水宏次さんからは、「空き家改修を媒介とする地域交流事例」と題し、自身が局長を務める「糸島空き家プロジェクト」の活動理念や事業スキーム、これまで同プロジェクトが手掛けてきた物件のエピソードをご紹介いただきました。

九州熱風法人よかごつの大堂代表からは、若者育成、生活支援、地域活性化、空き家活用という4つのキーワードを組み合わせた「地域に開かれた学生寮」をはじめとして、ゲストハウスやワークスペースの運営など「コミュニティづくり」を軸とした活動をご紹介いただきました。

九州大学大学院人間環境学研究院の田北専任講師からは、「社会的に孤立している人や事象」への支援の場面にデザインの要素を組み込むことにより、行動変容につなげていく話に加え、里親に関する実態や協働養育という新たな支援の形等についてご紹介いただきました。

嘉穂無線ホールディングス株式会社の柳瀬代表取締役社長からは、コロナ禍における地域の飲食店を応援する取組（他事業者への販売スペースの提供）の話や地域自治体との災害協定の締結、様々な場所でのワークショップの実施など、地域と共存する取組についてご紹介いただきました。

事例紹介後のパネルディスカッションでは、九州大学持続可能な社会のための決断科学センターの高尾忠志特任准教授の司会のもと、会場、オンラインでの参加者からの質問にパネリストに答えていただきました。

終了後のアンケートでは、約8割の参加者から「満足」という評価をいただき、参加者からは、

- ・色々な方のお話を伺う事により、自分の視野が広がりました。
  - ・直接会場には行けなかったが、パネリストとの距離が近く感じで聞きやすかった。
  - ・九大を中心とし、周囲の人々で行われている活動を知れて良かったです。
  - ・コミュニティ形成の意外な切り口が見つかった。
  - ・色々な方が地道に努力、チャレンジしている事に感心しました。
- などと言った声が寄せられ、盛会のうちに終了しました。

当日の映像視聴をご希望の方には、期間限定（9月16日～10月15日（予定））でオンデマンド配信（YouTube）しますので、以下までご連絡ください。  
次回開催日は改めてご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

オンデマンド配信のご希望はこちらまで：info@opack.jp

・当日の様子：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28918\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28918_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ  
【3】九州大学 人社系協働研究・教育コモンズの第6回企画  
「国境の島々のダイナミズム」 オンライン開催のご案内！【New!!】

#### 概要

日本は古来より九州・沖縄の島々を通じてアジアとの交流を進めてきました。戦後の国境線の画定によりこうした交流は停滞したものの、21世紀に入るとアジア諸国の経済成長に伴い、隣国から直接これらの島々を訪れる人が急増しました。また、国連海洋法条約の成立や中国の海洋進出に伴い、海洋政策の「拠点」としての国境の島々に対する関心も高まっています。他方で、2019年の「ボイコット・ジャパン」運動により対馬を訪れる韓国人が激減したり、今年に入って新型コロナウイルスの流行によりインバウンド客が激減するなど、国際情勢の変化は国境の島々に様々な影響を及ぼしています。このような国境の島々が有するダイナミズムをどのように捉えるのか。本シンポジウムでは、国境の島々が抱える問題点や将来的な可能性について、人文社会系の多角的な視点から考えていきます。それぞれの島の有する歴史的・文化的な背景も踏まえつつ、現在そして未来社会の「島」の在り方を議論します。

なお、本シンポジウムはProgress100の助成を受け、2021年3月に開催予定の国際シンポジウム「『プラットフォーム』としての島 持続可能な社会を目指すための学際的検討」の事前企画として行います。

日時：令和2年10月7日（水）13時00分～17時00分

実施形態：オンライン会議形式（ZOOMにて開催）

内容：

基調講演：高木 彰彦氏（九州大学 名誉教授）

「国境の島々のダイナミズム」

講演者：松尾 大輝氏（九州大学 人文科学府歴史空間論専攻 博士後期課程）

「境界地域としての中世対馬」

大澤 信氏（九州国立博物館 研究員）

「仏教文物からみた対馬の境界」

討論者：木村 政伸（九州大学 基幹教育院 / 人間環境学府 教授）

嶋田 暁文（九州大学 法学研究院 教授）

北澤 満（九州大学 経済学研究院 准教授）

司会：井手 誠之輔（九州大学 人文科学研究院 教授）

：国分 航士（九州大学 人文科学研究院 講師）

対象者：一般・学生

定員：100名

参加費：不要

申込方法：事前申し込みの必要あり。下記のサイトで事前登録をお願いします。

<http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/news.html>

お問合せ先：九州大学 人社系協働研究・教育コモンズ

Email: [enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp](mailto:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp)

・20201007シンポジウム：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28919\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28919_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【4】一般財団法人化学物質評価機構（CERI）寄付講座

「先端分子材料科学～設計、構造・物性、機能からデバイスまで～」

開催のお知らせ！

=後期講座がオンラインでの開催となりました=

#### 概要

九州大学大学院工学研究院応用化学部門による化学物質評価研究機構（CERI）寄付講座が開催されます。同部門では、研究成果のトランスレーションを通して、環境に調和した豊かな人間生活を実現する未来都市の創出を目的に、社会的に要望の高い未来化学技術の開発及び実証を行っており、同寄付講座にてシーズの発信や情報交換等を行うこととしております。

日時：【後期講座（全7回）】2020年10月3日（土）～11月28日（土）  
各日13：00～14：30、14：40～16：10の2コマ  
前期講座は終了しました。

場所・開催方法：  
後期講座 オンライン お申込み後、受講のURLをお送りします。  
（オンライン講座に変更になりました。）

内容：各日の講座の内容は、下記HPをご覧ください。（1コマから受講可能）  
[http://www.cstf.kyushu-u.ac.jp/japanese\\_news/archives/78](http://www.cstf.kyushu-u.ac.jp/japanese_news/archives/78)

対象者：どなたでも

参加費：不要

申込方法・申込期限：会社名・参加者名・ご連絡先（ 、 e-mail ）・受講希望日等の必要事項を  
明記のうえ、下記担当者へ申込み

問合せ先：九州大学大学院工学研究院応用科学部門 CERI寄付講座事務局  
担当：山口（ 092 - 802 - 2879、 e-mail [m-yamaguchi@cstf.kyushu-u.ac.jp](mailto:m-yamaguchi@cstf.kyushu-u.ac.jp) ）

・2020後期 / CERI寄付公開講座ポスター：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28920\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28920_file.pdf)

\* \* \* \* \* 事務局からのお願い & お知らせ \* \* \* \* \*

九大学研都市メールマガジン会員募集中  
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、  
メールマガジン会員を随時募集しております。  
ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報を  
メールマガジンにて毎月お届けしています。  
産学連携、研究施設、立地情報など九大学研都市に関する情報に  
関心のある方は是非お知らせください。

【詳細】  
[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規の御登録はこちらから  
<https://www.opack.jp/users/add>  
設定変更等  
本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、  
OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信  
させていただきます。  
メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ等は  
下記のURLをご参照ください。  
<https://www.opack.jp/users/delete>  
または、[info@opack.jp](mailto:info@opack.jp)までお問い合わせください。

\* \* \* \* \*